

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第36号
令和4年2月14日発行
黒沢尻工業高等学校

○鳥の目・魚の目・虫の目

最近になって『視点の三原則』という言葉を知りました。物事を見る際に非常に助けとなる考え方なので、皆さんに紹介します。

鳥の目： 鳥のように上から見渡して俯瞰する視点
魚の目： 魚のように流れを読み取る視点
虫の目： 虫のように細部に近づいて見つめる視点

まずは“鳥の目”。勉強でも仕事でも、いきなり細かいところから手をつけるのは賢い方法ではありません。大切なのは、『高いところから全体像を把握する』＝“鳥瞰（俯瞰）する”ことです。

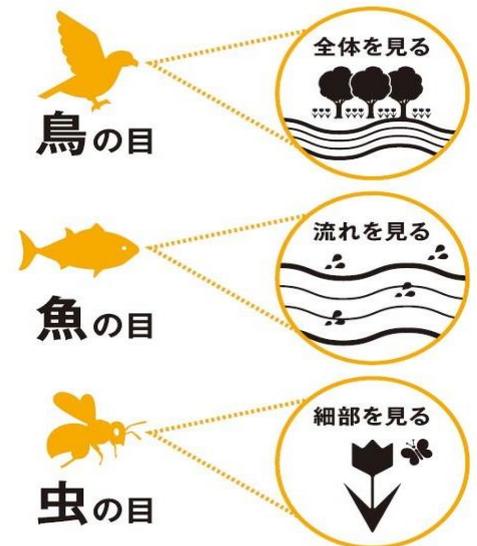
鳥のように高い位置から下を見るつもりで、広く全体像を把握することから始めます。勉強なら「目次」、仕事なら「目的」や「段階」などを知ります。難しく思えることも、全体の大まかな成り立ちや仕組みが分かれば、取り組みやすくなります。

次に“魚の目”。魚は、目には見えない水の流れを体全体で感じ取って泳いでいます。魚と同じように、どんな流れてなのかを読み取り把握します。勉強にも仕事にも人間関係にも流れがあります。また、世の中の流れにも敏感に察知できれば、様々な変化にも対応が可能になります。

そして“虫の目”。虫は小さい生き物です。低い位置にいるからこそ、上からは見えなかったことが見えてくるようになります。ターゲットを絞り、虫のように低いところから細かく見ることを徹底することで、様々なことが見えてくるものです。

ついでに、“コウモリの目”も紹介します。コウモリは逆さまにぶら下がってモノを見ます。つまり、逆の立場で見る・発想を変えるとという視点です。クリティカルシンキング（批判的思考）とって、物事を疑い、逆の立場になって考えるというのは、常識や前提にとらわれず、本質を追求する姿勢です。

視野を広げ、探究心を持って流れを読むことを意識して過ごせば、色々な気づきが生まれます。成長著しい年代の皆さんだけでなく、我々大人も意識したいことです。



○部活動の再開における注意点

2月15日（火）の考査終了後から部活動が再開されます。新型コロナウイルス感染症第6波が猛威を振るい、岩手緊急事態宣言下で活動するに当たり、県指定にプラスして本校独自の注意事項を示しますので、しっかり守ってください。

- (1) 活動日は「平日のみ」、活動時間は「2時間以内」とする。
- (2) 他校等との練習試合や合同練習は禁止とする。
- (3) 直近（1ヶ月程度）に公式大会を控えている部活動については、(1)(2)の限りではないが、必要性を十分に検討した上で、最小限の範囲での活動とする。
- (4) 活動前後に必ず健康観察を行い、用具や手指の消毒を徹底する。
- (5) 活動の前後にウォーミングおよびクールダウンの時間を十分に設ける。
- (6) 活動中に体調が悪くなった場合は、決して無理せず、活動を止める。
- (7) 待ち時間、ミーティング等、プレー中以外はマスクを着用する。

令和4年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールについて

昨年9月に「いのちの尊さ、大切さ教室」として、被害者遺族の吉田さんにお越しいただき、講演をしていただきました。それを受講した生徒を対象に、大切な命を守り、被害者を生まず誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現することに関して、自分の考えや意見等を表現した作品を募集しています。

年度末に入り、自分を見つめ直す時期に入りました。興味のある人は、是非、応募してみたいかがでしょうか。

1 応募資格

「命の大切さを学ぶ教室」を受講し、若しくは多様な機会(身近に経験したり見聞きした事件・事故、非行防止教室の受講等)に大切な命を守ることについて考えるなどした全国の中学又は高校生

2 賞

国務大臣・国家公安委員会委員長賞、文部科学大臣賞、警察庁長官賞、審査委員奨励賞 等

3 応募規定

1枚目の1行目に題名、2行目に学校名、3行目に学年、氏名(フリガナ)を明記してください。なお、作品には内容にふさわしい題名を必ずつけてください。

高校生の部は、1,600字(400字詰め原稿用紙4枚)程度とします。

原稿用紙、罫線紙の別、縦書き、横書きなどの様式は問いません。手書きに限らず、パソコンでの作成も可としますが、その場合は、1枚当たり縦書き又は横書き20字×20行で作成してください。自作、未発表の作品に限ります。

4 応募方法

在学する学校、所在地を管轄する警察本部又は警察署宛に持参又は郵送してください。

5 応募締切 令和4年6月15日(水)

6 主 催 警察庁

7 そ の 他 詳細については、「警察庁」のホームページをご覧ください。